

* * *







学校自己評価アンケートに見る南牧中学校の姿







2学期末に行った学校自己評価にご協力いただき有難うございました。集計をさせていただいた結果をもとに考察を加え、今年度の締めくくりに、また新年度からの学校づくりに活かしていきたいと思えます。以下、結果と考察内容をお伝えします。



■学校評価アンケート（保護者）

1. お子様の学年を入力してください。	<ul style="list-style-type: none">● 1 学年（家庭数 17 名）回答 100%● 2 学年（家庭数 26 名）回答 88%● 3 学年（家庭数 32 名）回答 75%	
2. 学校はお子様ที่安心して、楽しく生活できる場所になっている。	<ul style="list-style-type: none">● A そう思う 38%● B だいたいそう思う 50%● C あまりそう思わない 9%● D そう思わない 3%	
・「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が 87.5%でした。昨年度との比較では若干増加しています。「そう思わない」の回答は、昨年度は 0 件でしたが、今年度は2件ありました。心配な思いをアンケートにお書きいただいたことを謙虚に受け止めて、これからの生徒理解に努めてまいります。		
3. 子どもたちは、学校や地域で気持ちのよい挨拶ができる。	<ul style="list-style-type: none">● A そう思う 22%● B だいたいそう思う 64%● C あまりそう思わない 14%● D そう思わない 0%	

<p>・「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が 87.5%でした。昨年度との比較では若干増加しています。また昨年度は「そう思わない」に2件の回答がありましたが、本年度は0件でした。生徒会活動でも挨拶のあり方について考えたという取組が、生徒自らの手でなされています。</p>		
<p>4. 子どもたちに、学校生活や地域での生活で、相手の気持ちを考えて行動するなど「思いやる姿」が見られている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A そう思う 30% ● B だいたいそう思う 58% ● C あまりそう思わない 13% ● D そう思わない 0% 	
<p>・昨年度との比較では、それぞれ A が増加、B が減少、C が増加していました。お書きいただいたコメントより、子どもたちの相手の立場に立った言葉遣いを自身で見返していく、または言葉に関わる嬉しさや悲しさを具体的に分かち合う学習の機会を大切にしていきたいと考えます。</p>		
<p>5. 子どもたちは、南牧祭や生徒会活動など、自分のよいと思ったことを進め、自主的な活動に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A そう思う 78% ● B だいたいそう思う 16% ● C あまりそう思わない 5% ● D そう思わない 2% 	
<p>・昨年度との比較では、「そう思う」への回答が 26→50 人と増加しました。昨年度までの生徒会活動の成果、反省を土台とした、生徒主体による行事の達成が、生徒に大きな自己肯定感を与えていると考えます。新体制となった2年生の活動も、引き続き寄り添い、支援してまいります。</p>		
<p>6. 子どもたちは、部活動に熱心に粘り強く取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A そう思う 48% ● B だいたいそう思う 42% ● C あまりそう思わない 9% ● D そう思わない 0% 	
<p>・昨年度との比較では「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が漸増し、高い比率を維持しています。一方で、22の「部活動地域移行の取組」の項では、様々な捉え方が保護者の皆様の間にあることも、課題として受け止めつつ、部活動の運営・指導に生かしてまいります。</p>		
<p>7. 学校では、総合的な学習（SDGs・地域創生）などを通して、地域と連携した学習が行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A そう思う 19% ● B だいたいそう思う 63% ● C あまりそう思わない 17% ● D そう思わない 2% 	
<p>・コロナが落ち着いてきた中で、生徒が地域の方に学ぶ、地域に足を運んで実際にその魅力に触れる機会を模索しています。いただいたコメントの中には、「地域の環境を生かした職業体験学習をぜひ！」「SDGs にこだわり過ぎないで、多様に学んでほしい」「いろいろな価値観に触れてほしい」という願いをお聞かせいただきました。</p>		
<p>8. お子様は、ボランティアなど地域の行事にすすんで参加している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A そう思う 8% ● B だいたいそう思う 39% ● C あまりそう思わない 45% ● D そう思わない 8% 	
<p>・昨年度との比較では「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が増加しました。「D そう思わない」の回答は半分になりました。主に2学期の子どもの様子からは、村のイベント等に参加することができた生徒も多く、地域の方々と楽しんで交流できている良さが伺えます。</p>		
<p>9. 子どもたちにとって、授業は分かりやすく楽しいものとなっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● A そう思う 8% ● B だいたいそう思う 58% ● C あまりそう思わない 27% ● D そう思わない 8% 	
<p>・「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が 66%で、昨年度の 73%から減少が見られました。今年度の課題点のひとつであると受け止めています。授業アンケートなどからも子どもの声を受け止め、また引き続き教師間の授業研究等の研修を継続させながら、授業改善に努めてまいります。</p>		

<p>10. 授業の発言などをみると、子どもたちは自分の考えたことについて意見交換し合い「自分の考えや願いを伝え合う力」を伸ばしている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>14%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>27%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>0%</td> </tr> </table>	● A そう思う	14%	● B だいたいそう思う	58%	● C あまりそう思わない	27%	● D そう思わない	0%	
● A そう思う	14%									
● B だいたいそう思う	58%									
● C あまりそう思わない	27%									
● D そう思わない	0%									
<p>・昨年度との比較では「あまり思わない」が漸増。「そう思わない」が3→0人になりました。教科学習以外にも、普段から積極的に行っている縦割りでの活発な話し合い活動は、本校生徒の強みと言えます。これからも生徒と共に自分の考えを自由にアウトプットでき、また互いに受け止め合える場を創造してまいります。本校の全校研究テーマは「様々な対象と自主的に関わりながら、自ら考え、判断し、行動する力」です。保護者の皆様には、授業参観日をはじめ、ご来校いただける折には、参観の際の一観点としていただくと有難いです。</p>										
<p>11. お子様は、家庭で継続的に学習に取り組んだり、計画的にテスト勉強に取り組んだりしている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>11%</td> </tr> </table>	● A そう思う	23%	● B だいたいそう思う	33%	● C あまりそう思わない	33%	● D そう思わない	11%	
● A そう思う	23%									
● B だいたいそう思う	33%									
● C あまりそう思わない	33%									
● D そう思わない	11%									
<p>・「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が 48→56%と、昨年度との比較では漸増しています。教科の進度、内容に合わせて、補充・定着・活用・探究といった様々な視点から課題を自分で見出し、計画を立てながら、自立した学習者として育っていくという家庭学習のねらいを学校と家庭とで共有を図っていきながら、生徒を支援していきます。</p>										
<p>12. 教師は、授業や授業以外の時間に子どもたちが学習を理解するまで丁寧に教えたり、説明したりしている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>56%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>3%</td> </tr> </table>	● A そう思う	17%	● B だいたいそう思う	56%	● C あまりそう思わない	23%	● D そう思わない	3%	
● A そう思う	17%									
● B だいたいそう思う	56%									
● C あまりそう思わない	23%									
● D そう思わない	3%									
<p>・子どもから「分からない」の声を自然に聞き出せる温かな学習の場づくりに、そしてその声にいつでも寄り添える教師の姿勢づくりに、今後も努めてまいります。今年度から朝の活動の時間に「e ライブラリ学習」を取り入れています。ICTの環境を生かせる部分であると考え、個別最適な学習の機会を保障していきます。</p>										
<p>13. 教師は、授業で子どもたちの意見を良く聞いたり、子どもたちを認めたりすることを大切にしている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>53%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>12%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>6%</td> </tr> </table>	● A そう思う	22%	● B だいたいそう思う	53%	● C あまりそう思わない	12%	● D そう思わない	6%	
● A そう思う	22%									
● B だいたいそう思う	53%									
● C あまりそう思わない	12%									
● D そう思わない	6%									
<p>・「授業の主体が常に生徒であること」を授業改善の視点に置きながら、その子が発する思いを受けとめることをその根幹として、教師相互の研修を重ねつつ、取り組んでまいります。</p>										
<p>14. 教師は、子どもたちが安心して学校生活を送れるように、親身になって悩みを聞いたり相談にのったりして生活指導や生徒指導を適切に行っている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>28%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>47%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>6%</td> </tr> </table>	● A そう思う	28%	● B だいたいそう思う	47%	● C あまりそう思わない	19%	● D そう思わない	6%	
● A そう思う	28%									
● B だいたいそう思う	47%									
● C あまりそう思わない	19%									
● D そう思わない	6%									
<p>・昨年度との比較では大きな変化は見られませんでした。「D そう思わない」の人数が減少しました。普段からの受容的な声掛け、生活ノート等へのコメント、折々の生活アンケートを始めとし、今年度は forms の機能を使ったオンラインでの生徒相談窓口を設けました。これらの土壌となる普段からの関係づくり(生徒理解)も大切にしています。</p>										
<p>15. 学校から保護者に向けて出されている通信や文書、連絡などは、わかりやすく適切である。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>41%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>3%</td> </tr> </table>	● A そう思う	41%	● B だいたいそう思う	50%	● C あまりそう思わない	6%	● D そう思わない	3%	
● A そう思う	41%									
● B だいたいそう思う	50%									
● C あまりそう思わない	6%									
● D そう思わない	3%									
<p>・教師による相互チェックの機会を設け、文面を精査しています。お子さん方の具体の姿がご家庭、地域お伝えできるよう、研鑽を重ねてまいります。</p>										

<p>16. 通知表の内容や記述は、分かりやすく、納得できる。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>61%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>5%</td> </tr> </table>	● A そう思う	30%	● B だいたいそう思う	61%	● C あまりそう思わない	5%	● D そう思わない	5%	
● A そう思う	30%									
● B だいたいそう思う	61%									
● C あまりそう思わない	5%									
● D そう思わない	5%									
<p>・学期ごとのお子さんの努力の姿、成果と課題が明確に伝わるよう、努めてまいります。また、表記の点につきましても、教師による相互チェックの機会を設け、お伝えする文面を精査しています。お気づきの点につきましては、家庭からの通信欄をお使いいただきまして、お伝えいただければ幸いです。よろしく願います。</p>										
<p>17. 学校は保護者が気軽に訪れ、保護者と協力して教育を進める雰囲気となっている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>5%</td> </tr> </table>	● A そう思う	22%	● B だいたいそう思う	50%	● C あまりそう思わない	23%	● D そう思わない	5%	
● A そう思う	22%									
● B だいたいそう思う	50%									
● C あまりそう思わない	23%									
● D そう思わない	5%									
<p>・本校ではいつでも保護者の皆様のご相談に対応してまいります。また、学年職員のみならず、養護教諭、心の相談員、スクールカウンセラー等、相談のご希望に合わせて職員が対応します。本校は、保健室が「いじめ・ハラスメント相談窓口」となっています。</p>										
<p>18. 学校の環境は、整備され気持ちよく保たれている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>34%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>6%</td> </tr> </table>	● A そう思う	34%	● B だいたいそう思う	55%	● C あまりそう思わない	5%	● D そう思わない	6%	
● A そう思う	34%									
● B だいたいそう思う	55%									
● C あまりそう思わない	5%									
● D そう思わない	6%									
<p>・PTA 作業では保護者の皆様のご協力有難うございます。子どもたちは生徒会活動にも清掃を位置付け、人数の少ない中で、日々学び舎を磨いています。</p>										
<p>19. PTA による活動（広報活動、PTA 作業など）が充実している。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>8%</td> </tr> </table>	● A そう思う	16%	● B だいたいそう思う	55%	● C あまりそう思わない	22%	● D そう思わない	8%	
● A そう思う	16%									
● B だいたいそう思う	55%									
● C あまりそう思わない	22%									
● D そう思わない	8%									
<p>・年間の計画を推進しつつ、1つ1つ活動内容の精選を図ってきています。先日行われましたPTA評議員会でも、より参加しやすい、そして持続可能な本校のPTA活動について、どのような論点を会員の皆様と共有していくか議論されました。</p>										
<p>20. 「学年担任制」は子どもたちがだれにでも相談ができたり、教師はより広い視点から子どもの姿を捉えることができたりするよさにつながっている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>14%</td> </tr> </table>	● A そう思う	20%	● B だいたいそう思う	33%	● C あまりそう思わない	33%	● D そう思わない	14%	
● A そう思う	20%									
● B だいたいそう思う	33%									
● C あまりそう思わない	33%									
● D そう思わない	14%									
<p>・[アンケート実施初年度]実施1年目としてコメントに触れていただいた内容も多く、関心を高くお寄せいただいていることが伺えます。「たくさんの先生に子どもの姿、多様な面が見てもらえて良かった」等といった成果、「教師の考えや指導がバラバラで方向性が見えにくく、不安」「相談窓口が分からない」等といった課題を含めて、その捉えが分かれており、来年度の教育課程編成においては更にこの取組が拡充できるよう受け止めてまいります。</p>										
<p>21. ティームティーチング、グループ別授業（2,3年生）の導入は、子どもにとってよりわかりやすい授業づくり、子どもが安心して授業を受けられる環境づくりに有効である。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>5%</td> </tr> </table>	● A そう思う	13%	● B だいたいそう思う	70%	● C あまりそう思わない	13%	● D そう思わない	5%	
● A そう思う	13%									
● B だいたいそう思う	70%									
● C あまりそう思わない	13%									
● D そう思わない	5%									
<p>・[アンケート実施初年度]「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が 83%と高い結果が見られますが、「A そう思う」と回答した保護者は決して多くはないと受け止めています。生徒の声や、学校づくりに奏功した点、取組の工夫について、具体的なお子さんの姿を通して、取組のよさを家庭・地域の皆様にお伝えしていきます。</p>										

<p>22. 部活動の地域移行化が進み、子どもたちはより多くの人との関わりの中で、やりたい活動に取り組むことができている。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● A そう思う</td> <td>17%</td> </tr> <tr> <td>● B だいたいそう思う</td> <td>58%</td> </tr> <tr> <td>● C あまりそう思わない</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td>● D そう思わない</td> <td>5%</td> </tr> </table>	● A そう思う	17%	● B だいたいそう思う	58%	● C あまりそう思わない	20%	● D そう思わない	5%	
● A そう思う	17%									
● B だいたいそう思う	58%									
● C あまりそう思わない	20%									
● D そう思わない	5%									
<p>・[アンケート実施初年度]「A そう思う」「B だいたいそう思う」の回答が 75%でした。部活動運営委員会でも、多くのご発言をいただいています。(学校だより「すずらん」NO9 参照)部・団体によってはその運営に不安や迷いを抱えているところもあり、困り感に寄り添い、実状をお聞きしながら、新しい部活動のあり方を今後も模索してまいります。</p>										
<p>■いじめ・体罰調査 (保護者)</p>										
<p>1. 今年度の4月から現在までに、学校において、いじめや体罰があると、お子様から聞いたことがありますか。</p>	<table border="0"> <tr> <td>● ある</td> <td>10%</td> </tr> <tr> <td>● ない</td> <td>90%</td> </tr> </table>	● ある	10%	● ない	90%					
● ある	10%									
● ない	90%									
<p>・挙げられた事象には「グループでつむ・陰口を言う・キツイ言葉、心無い言葉、からかい・暴力・仲間外し・物が無くなる」といったものがありました。ご家庭で受け止めていただいているお子さんの悲しい思いがあることが分かります。昨年度はオンライン授業に関わっての訴えがありましたが、SNS 利用に関わるものも含めて、今年度はありませんでした。「学校だけでなく、家庭としても一緒に考えていきたい」というコメントをいただきました。</p>										

いただきましたアンケートの結果をふまえて、令和6年度の学校運営の方向について、参観日での校長講話で学校長よりお話しさせていただきました。(参観日当日使用したスライドを以下に掲載します)

令和6年度

継続

1. 学年担任制 (全員が担任)

「どの先生にでも、相談できる学校」

- ・話しやすい、相談しやすい先生を選択
- ・相談室、formsなど、複数の相談窓口
- ・家庭訪問や懇談会など、複数で対応
- ・学活や道徳、総合など全員で指導

**「複数で生徒を見て
よさや育ちに気づく学校」**

- ・生徒の情報を共有し、チームで支援
- ・安定した教育活動の実現

令和6年度

拡充

2. 学年とグループのハイブリット学習

「多様な考えに触れる学習」 (学年)

- ・集団で高め合い、多様な価値観から学ぶ
- ・TTによる指導の充実

「自分の願いや課題に応じた学習」 (グループ別)

- ・自分に合った追究したい課題に応じた学び
- ・基礎の定着、発展的な学習

令和6年度

充実

3. 部活動

南佐久の中学校と「拠点化」

- ・やりたい部活、活動ができる
- ・高めあえる仲間を増やす、広げる
- ・行事等をそろえ、平日練習も模索

地域の指導者・部活動指導員、等から指導をうける

- ・専門的な指導
- ・人とのかかわり、地域とのかかわりを広げる



2/6 授業参観日 ランチルームでの校長講話の様子。
当日はお足元の悪い中をご来校いただき有難うございました。また南小と同日になってしまい、ご迷惑をおかけしました。来年度はこのようなことが無いよう、年間計画を調整します。

